

早期景気観測調査

【12-1 月期 調査結果概要報告書】

平成31年3月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成31年1月15日(火)～31日(木)
4. 調査対象： 当所会員136事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 96件
7. 有効回答率： 70.6%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【12-1月期の動き】

**全体業況は2期連続の悪化も、小幅な変化にとどまる。
向こう3カ月の業況は、改善の見通し。**

12-1月期の全業種総合の業況DIは、▲26.0（前期比▲2.5ポイント）と2期連続の悪化となった。売上DIが3期連続で悪化したが、一方で採算DIが小幅な改善に転じ、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDIについても、それぞれ2期連続で改善している。ただし、従業員については不足感が増している。

向こう3か月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、製造業、サービス業で改善し、建設業が横ばい、卸売業、小売業で悪化した。

製造業の業況DIは▲15.0（前期比+4.0ポイント）と2期連続の改善となった。売上DI、金融貸出しDIがともに小幅な悪化に転じ、採算DI、仕入単価DIについても、それぞれ悪化に転じている。唯一従業員DIが小幅な改善となった。

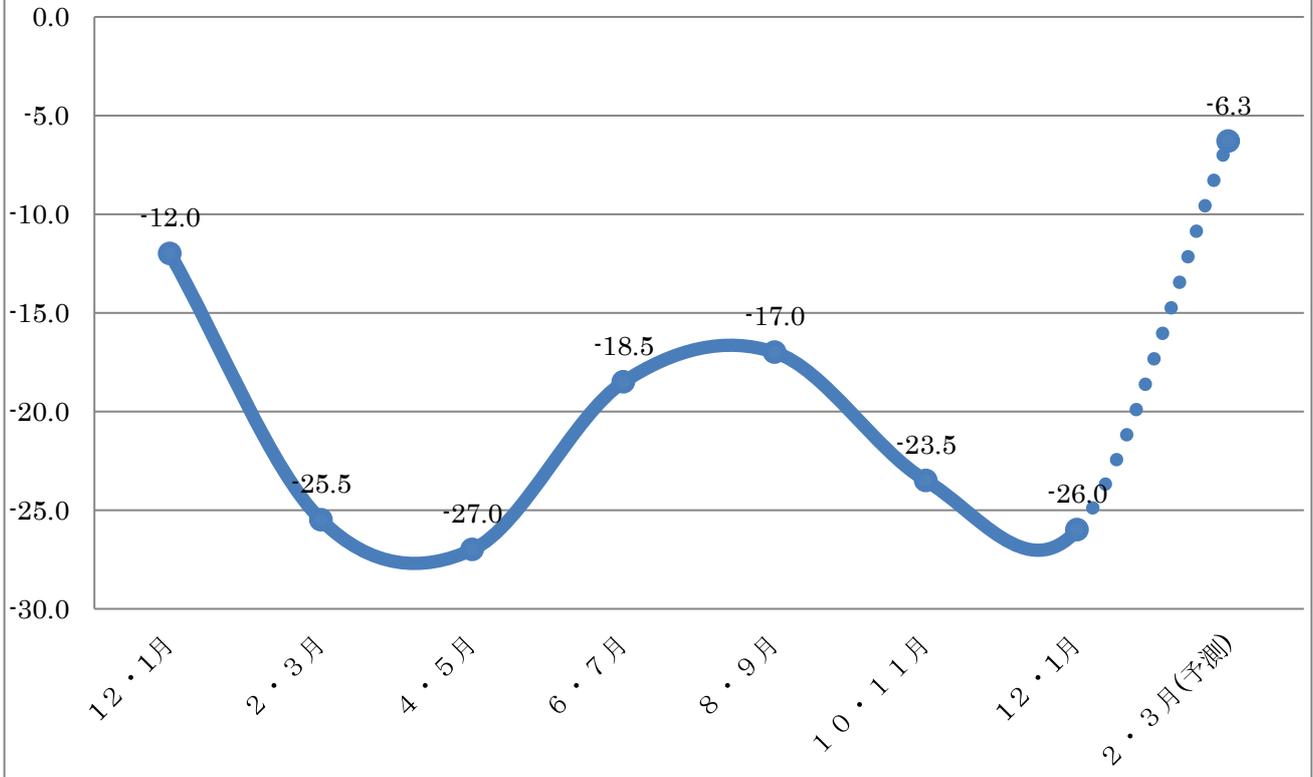
建設業の業況DIは▲22.2（前期比±0.0ポイント）と横ばいとなった。売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDIの全項目で改善に転じている。ただし、人手不足感は増している。

卸売業の業況DIは▲21.1（前期比▲5.3ポイント）と2期連続で悪化となった。売上DIが2期連続の悪化となり、21.1ポイントの大幅なマイナスとなっている。一方で、仕入単価DIは2期連続の改善となり、26.3ポイントの大幅なプラスとなった。また、採算DI、従業員DIについても、それぞれ改善に転じている。金融貸出しDIについては横ばいとなった。

小売業の業況DIは、▲54.2（前期比▲10.7ポイント）と4期連続の悪化となった。売上DI、従業員DIがともに3期ぶりに改善に転じたものの、採算DIが悪化に転じ、仕入単価DIも2期連続の悪化となった。金融貸出しDIについては横ばいとなっている。

サービス業の業況DIは▲6.7（前期比+5.1ポイント）と2期連続の改善となった。売上DIが悪化に転じ、25.1ポイントの大幅なマイナスとなった。また、採算DI、仕入単価DIはいずれも小幅な悪化に転じ、従業員DIについても悪化に転じている。唯一、金融貸出しDIのみ横ばいとなった。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

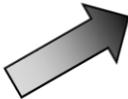
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲26.0	▲6.3	▲28.1	▲26.0	▲38.5	20.8	0.0

12-1月期の全業種総合の業況D I は、▲26.0（前期比▲2.5ポイント）と2期連続の悪化となった。

項目別では、売上D I（▲20.4→▲28.1）が3期連続で悪化しているが、一方で採算D I（▲26.5→▲26.0）が小幅な改善に転じ、仕入単価D I（▲42.9→▲38.5）、従業員D I（18.4→20.8）、金融貸出しD I（▲1.0→0.0）についても、それぞれ2期連続で改善している。ただし、従業員については不足感が増している。

向こう3か月の先行き業況は、▲6.3と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

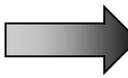
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲15.0	▲30.0	▲5.0	▲15.0	▲15.0	5.0	▲5.0

業況DIは▲15.0（前期比+4.0ポイント）と2期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（▲4.8→▲5.0）、金融貸出しDI（▲4.8→▲5.0）がともに小幅な悪化に転じ、採算DI（▲9.5→▲15.0）、仕入単価DI（▲4.8→▲15.0）についても、それぞれ悪化に転じている。唯一、従業員DI（4.8→5.0）が小幅な改善となった。

向こう3か月の業況は、▲30.0と悪化する見通し。

建設業

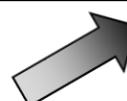
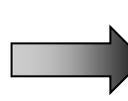
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲22.2	0.0	▲22.2	▲16.7	▲61.1	44.4	5.6

業況DIは▲22.2（前期比±0.0ポイント）と横ばいとなった。

項目別では、売上DI（▲27.8→▲22.2）、採算DI（▲33.3→▲16.7）、仕入単価DI（▲72.2→▲61.1）、従業員DI（33.3→44.4）、金融貸出しDI（0.0→5.6）の全項目で改善に転じている。ただし、人手不足感は増加している。

向こう3か月の業況は、0.0と大幅に改善する見通し。

卸売業

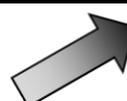
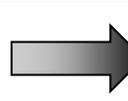
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲21.1	▲15.8	▲31.6	▲15.8	▲26.3	26.3	0.0

業況DIは▲21.1（前期比▲5.3ポイント）と2期連続で悪化となった。

項目別では、売上DI（▲10.5→▲31.6）が2期連続の悪化となり、21.1ポイントの大幅なマイナスとなっている。一方で、仕入単価DI（▲52.6→▲26.3）は2期連続の改善となり、26.3ポイントの大幅なプラスとなった。また、採算DI（▲31.6→▲15.8）、従業員DI（21.1→26.3）についても、それぞれ改善に転じている。金融貸出しDI（0.0）については横ばいとなった。

向こう3か月の業況は、▲15.8と改善する見通し。

小売業

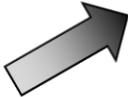
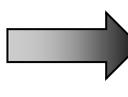
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲54.2	12.5	▲58.3	▲58.3	▲41.7	16.7	0.0

業況DIは、▲54.2（前期比▲10.7ポイント）と4期連続の悪化となった。

項目別では、売上DI（▲60.9→▲58.3）、従業員DI（13.0→16.7）がともに3期ぶりに改善に転じたものの、採算DI（▲43.5→▲58.3）が悪化に転じ、仕入単価DI（▲39.1→▲41.7）も2期連続の悪化となった。金融貸出しDI（0.0）については横ばいとなっている。

向こう3か月の業況は、12.5と大幅に改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 6. 7	0. 0	▲ 1 3. 3	▲ 1 3. 3	▲ 5 3. 3	1 3. 3	0. 0

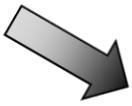
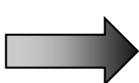
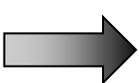
業況DIは▲6.7（前期比+5.1ポイント）と2期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（11.8→▲13.3）が悪化に転じ、25.1ポイントの大幅なマイナスとなった。また、採算DI（▲11.8→▲13.3）、仕入単価DI（▲52.9→▲53.3）はいずれも小幅な悪化に転じ、従業員DI（23.5→13.3）についても悪化に転じている。唯一、金融貸出しDI（0.0）のみ横ばいとなった。

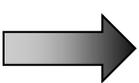
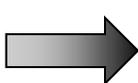
向こう3か月の業況は、0.0と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

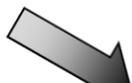
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

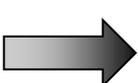
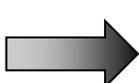
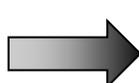
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

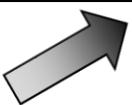
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

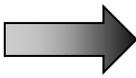
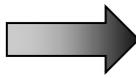
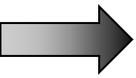
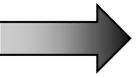
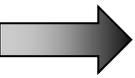
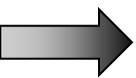
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・昨年4月より従業員減少に伴い生産量を減少させたため、売上高減少となっている。
- ・お歳暮ギフトについては、ダウン傾向が止まらない状況。歳暮マーケットの減少が要因ながら、プライベートギフトへのシフトなど対応急務。メインのおせち関連については、水産品原材料の高騰から、引き合い商材の単価ダウンが売上マイナスに影響。
- ・日本のイカ漁は過去最低ですが、海外のイカ漁が豊漁で仕入高下落します。

製造業（工業製品）

- ・12月度水晶工業会統計実績は、産業用振動子は前月までの反動が大きく減少。産業用水晶発振器と自動車用水晶振動子は増加。全体では生産が微減、受注はほぼ横ばいでした。
- ・当期（2018年4月～2019年3月）も残り3か月となり、対前年比で増収増益となる見込みであるが、来期（2019年4月～）は米中貿易摩擦による減速懸念がある。

製造業（宝飾）

- ・1月のIJTの展示会に向けて、提案商品を積極的に作り込み、3月香港JFに繋げていく。今年一年を占う展示会になりそうです。
- ・IJTでは中国新バイヤーの来場減少。全体的に厳しいスタートとなった。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・年々、年末の業況は悪化も仕事量は変わらず。人手不足に伴い、今後も厳しい状況。

卸売業（その他）

- ・製造業関係で、若干一服感がある。
- ・当社は業種柄、季節的な要因が大きく、2～4月期が1番の需要期。

【建設業】

建設業（建築）

- ・建設業においては、製品納期の遅れが工期に直結し、人工によって工期の短縮をしていくため、当初計画していた経費では賅いきれない（赤字）。納期遅れには早い段階での決定が必要。→意識が足りず働き方改革できず、お客様がいつまでも安いところを探している。→工期遅れ。→人数増やす。

建設業（土木）

- ・弊社そして業界として、現状公共工事が減少していく中、今後民間工事での競争が激しくなることが考えられる。また人材においても、会社に長く定着し責任感がある人が現状不足しているた

め、どうか採用できる手段を考え、対応していかなければならないと思います。

建設業（鉄鋼）

- ・鉄鉱石は安定的に推移。原料炭は高値域で推移。ハイテンションボルトは納期遅れが目立つ。通常2～3か月だが、現状6～8か月。

【小売業】

小売業（大型店）

- ・12月、1月とも入店客数は前年をクリア。売上は、1月に入り前年クリア。家族連れやカップルなど中心市街地で増加傾向。

小売業（事務用品）

- ・新しいオフィスの効果が少しずつ出てきました。

小売業（趣味・日用品）

- ・お正月三が日の静けさが未だに続いている感じで、客足はさっぱり伸びない。
- ・前年度末は、気象庁から発表された通り11月12月は暖冬となりました。そのため、冬物商品の動きが前年度より遅く、売上も伸び悩んでおりました。12月下旬より、気温も平年並みになり、全体的に業績も落ち着いております。
- ・道路工事の影響があり、1月は最悪です。低額品が売れているという情報はありますが、地域差がかなりあり、地方は大変厳しいようです。

小売業（家電）

- ・12・1月は休日が多いため、売上はどうしても減少します。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・2019年3月1日より価格改定（朝食・夕食・宴会）。2020年春より室料も価格改定を予定。
- ・小規模の旅館・ホテル等の宿泊施設は、今大変です。大きなビジネスホテルの数に押され、仕事で来県する方も、利用客が少なくなっております。南アルプスの登山、また観光シーズンを待ちたいと思います。外国から来る観光客は富士山周辺ばかりで、甲府市内にはほとんど入ってきていない。

サービス業（観光）

- ・例年に比べて年末の観光客が少ないようです。
- ・年末年始は天候にも恵まれ、順調な売り上げでした。昨年来続く原油価格上昇は、12月の水準は前年より高いものの値下がりに転じており、今後に期待をしています。従業員は、バス、タクシーの乗務員不足への対応を急いでいます。
- ・今年は天気が良く、暖かい日が多かったためだと思われれます。
- ・大きな変化はありません。県知事が代わることに関心があります。

サービス業（飲食その他）

- ウナギの仕入値が依然として高騰しています。需要期ではないのですが、あと2ヶ月くらいするとシラスの漁期を迎えます。海流に乗って多くのシラスが日本近海にやってくると良いのですが。
- 12月は例年並みの業況でしたが、1月に入り選挙の影響もあり若干売上を落とした。

以上

